

かんしょ(野菜類・いも類)

病害虫	防除方法	防除上の注意事項
黒あざ病	1. 種いもは健全いものみを使用し無病の苗床用土を使用する。 2. 採苗時の苗は根元を5cm以上残し、高切りとする。 3. 貯蔵するいもは必ず健全で傷のないものだけとし、前年発病した貯蔵穴は使用しない。 4. 常発地では種いもや苗は次の方法で消毒する。 種いも温湯消毒：47～48℃の温湯に種いもを40分間浸漬する。	1. 主として種いもから伝染するが、ほ場では野ネズミ、ハリガネムシによる媒介が大きいので、これらの防除も必要である。 2. 温湯消毒は温度及び浸漬時間を厳守し、消毒後種いもの冷えないうちに熱の上がっている苗床に伏せ込む。 3. 排水不良畑を避けて高うね栽培を行い、有機質肥料やアルカリ性肥料の多用を控えることも効果がある。
斑紋モザイク病	1. ウイルスフリー苗を植える。 2. アブラムシ類の防除を徹底する。	